

01

幼児の通える教育・保育施設の種類が増えます

(幼児教育・保育を一元化した総合施設の導入)



●規制改革前

幼児の教育施設として幼稚園が、保育施設として保育所が整備されていますが、総合的なサービスの提供等、利用者の多様なニーズを満たす環境は充分ではありませんでした。

●規制改革後

2005年度に試行的に、2006年度には本格的に、従来の施設に加えて、幼児教育・保育を一体として行う『総合施設』が導入される予定です。

●規制改革の効果

施設選びの選択肢が広がることで、保護者の多様なニーズが満たされ、安心して子供を預けられる環境の実現が期待されます。

